

市P連発第 7-58号
令和 7年12月23日

甲府市教育委員会
教育長 松田昌樹様

甲府市小中学校PTA連合会
会長 相山恭子
同 育み委員会
委員長 木川絵美

学校給食・教育環境についての要望について

平素より、甲府市小中学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、市P連育み委員会では、長年継続して行っている、学校給食をはじめとする「食」や学校・家庭における生活や子育てのあり方について学び、取り組んでおります。

各単位PTAの学校給食に関する要望、教育環境に関する要望を把握し、育み委員会としての要望をまとめました。

今後も子どもたちのためにより良い学校教育環境であり続けられるようご検討をよろしくお願い申し上げます。

なお、要望事項について令和7年2月末日までに、文書をもってご回答くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

甲府市小中学校PTA連合会 事務局
〒400-0043
甲府市国母4丁目1-12
電話 055-222-3866
FAX 055-222-3889

【学校給食に関する要望事項】

1. 給食費の無償化・公費負担の推進

近年の物価高騰や家計負担の増大により、子育て世帯の経済的負担はますます深刻化しています。特に学校給食費は、全ての児童・生徒に関わる必須の経費でありながら、家庭の経済状況によっては支払いが困難となる世帯も少なくありません。

学校給食は、子どもの健康と発育を支え、食育を推進するうえで極めて重要な教育の一環です。すべての子どもが安心して、平等に給食を享受できる環境を整えるためにも、給食費の無償化または段階的な公費負担拡大を進めていただきたいと思います。

学校給食費の無償化は、単なる経済支援にとどまらず、教育の平等と福祉の向上を図るための基盤整備でもあります。甲府市が未来を担う子どもたちの成長を支えるまちとして、率先して給食費の公費化に取り組まれることを強く要望いたします。

2. 地元食材等の使用やクオリティを維持したメニューの増加

山梨県には、豊かな自然環境に育まれた安全で高品質な農畜産物が多数あります。これらの地元食材を給食に取り入れることは、食育の推進、食の安全・安心の確保、地域農業・経済の活性化など、多方面において意義深いものと考えます。そのため、今後も学校給食運営において「山梨県産食材の使用拡大」と「メニューの品質維持・向上」をさらに推進していただきたいと思います。

児童生徒が地元の食に親しみ、地域への愛着を育むと共に、保護者・地域住民の県産品への理解と関心も深まり、また学校給食の質と魅力の向上による食育効果の拡大も期待されるのではないかと考えられます。

山梨県の豊かな食材と伝統を次世代へつなぐためにも、地元食材を生かした学校給食の充実を今後さらに推進していただきますよう、強く要望いたします。

【教育環境に関する要望事項】

1. 体育館へのエアコン設置

近年の夏季は、全国的に記録的な猛暑が続いており、体育館内の気温が35°Cを超える日も多くみられます。そのため、体育の授業や部活動、全校集会などの際は、児童・生徒の体調不良や熱中症の危険が懸念される状況です。また、冬季には体育館内が著しく冷え込み、子ども達の健康や集中力への影響も無視できません。

さらに、体育館は災害発生時に地域の避難所としても指定されており、空調設備が整っていない現状では、長期的な避難生活に適した環境とは言えません。

このような状況を踏まえ、児童・生徒および地域住民の安全と健康を守るため、体育館への空調設備（エアコン）設置を要望いたします。

2. 学校現場への人員（教職員・特別支援教育支援員・学習指導員・スクールサポート

スタッフ・スクールカウンセラー・栄養教諭など）の増員

各校PTAを通じて現場の実情を把握する中で、教職員の多忙化と人員不足が深刻な課題となっていることを強く感じております。児童生徒数の推移、教育課題の多様化、ICT教育の進展、特別支援教育の拡充、不登校や心のケアへの対応など、学校が担う役割は年々拡大しており、現場の教職員の努力だけでは十分に対応しきれない状況です。つきましては、教職員の増員および適正配置の推進、特別支援教育支援員・学習支援員の拡充、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等専門職の配置強化、スクールサポートスタッフ・・栄養教諭の増員を要望します。

子どもたちが安全で充実した学校生活を送れるよう、現場の実情をご理解いただき、教育環境のさらなる改善に向けたご配慮とご尽力をお願い申し上げます。